

静岡市面的整備型地域生活支援拠点
中長期計画(平成30~32年度)案

地域生活支援ネットワーク
まいむ・まいむ
「点と点をつなぐ」面的整備

平成〇年〇月
静岡市障害者自立支援協議会
地域生活支援部会
地域生活支援拠点プロジェクト

地域生活支援ネットワーク「まいむ・まいむ」の“5つの機能”

(1) 「相談」機能 + (4) 「専門性」機能

相談

委託相談支援事業所 11か所
計画相談支援事業 30か所
専門的相談関係機関 きらり、Dan Danしずおか等

(2) 「緊急時の受け入れ」機能 + (4) 「専門性」機能

緊急時の受け入れ

【日中活動系サービス提供事業所】 生活介護 46か所 居宅介護 69か所
【居住系サービス提供事業所】 入所施設 8か所 グループホーム 28か所
【障害児通所・入所施設】 児童発達支援事業所 28か所 障害児入所施設 4か所

(3) 「体験の機会・場」機能 + (4) 「専門性」機能

体験の機会・場

入所施設 8か所 短期入所施設 24か所
グループホーム 28か所

(5) 地域の体制づくり

(4)
専門性

質の高い
支援力

※事業所数は平成30年7月1日現在
休止中の事業所も数に含む

地域で暮らすための 5つの機能と ネットワーク

地域の課題

「親亡きあとも」
「生活意欲の向上」

地域の課題

「サービスの質の担保」
「障がい特性の理解」
「人材の確保・養成」

4 専門性

スーパーバイザー派遣

人材養成研修

1 相談支援

地域移行

地域定着

同行支援

触法

総合調整



サポートチーム
による連携

コーディネート

2 緊急時の受け入れ

ショートステイ
による受け入れ

ヘルパー派遣

障がい特性に
応じた受け入れ

中核機能
(入所・生活介護・放デイ・
相談支援等多機能施設)

ヘルパーとの付き合い方
を学ぶ

ショートステイ
体験

3 体験の機会・場

5 地域の体制づくり

大学等

計画相談事業所

入所施設

サービス提供事業所

まいむ・まいむ
「点と点をつなぐ」面的整備



相談支援推進
センター



委託相談支援事業所
(身体)



委託相談支援事業所
(知的)



委託相談支援事業所
(精神)



委託相談支援事業所
(重心)



“相談機能”整備に向けた中長期計画(平成30～32年度)

目標: 困難事例の円滑な対応に向けたネットワークづくり

基盤整備

多機能施設を中心とした
ネットワーク構築

ネットワーク体制の構築

解決困難事例の円滑な対応に向けた
連携体制の整備
(社会福祉法第106条の2)

人材づくり

研修等の実施による人材の養成

基幹

30年度～
基幹相談支援センターの役割の明確化
相談事例の振り分け
困難事例の対応

29年度・ネットワーク体制の検討
・拠点における基幹業務の検討
30年度・ネットワーク会議立ち上げ・運用

30年度～
・人材養成研修計画立案
・相談支援における専門性
向上研修の実施

拠点機能

29年度・拠点の役割の明確化
30年度～・拠点機能の周知
・サービス提供事業所情報収集
・協力体制整備
・コーディネーターによる事例振り分け

29年度・コーディネーター業務の検討
30年度・ネットワーク会議立ち上げ
31年度～・ネットワーク会議運用、
情報発信、大学等連携

30年度～
・サービス提供事業所向け事業説明
会、ネットワーク運用状況説明等の
実施

委託相談

30年度～基幹からの相談事例対応
基幹対応案件の引継調整

30年度～
・基幹相談と困難事例の検証
・ネットワーク会議への参加

30年度～
・相談員の専門性の向上研修
運営への参加

行政

29年度・拠点推進体制の整備
(障がい者計画への登載、コーディネーター
配置準備等)

30年度～
・コーディネーターの配置

30年度～
・支援、調整

30
31
32
年度

30
31
32
年度

30
31
32
年度

30
31
32
年度

連携

連携

連携

“緊急時の受け入れ機能”整備に向けた中長期計画(平成30～32年度)

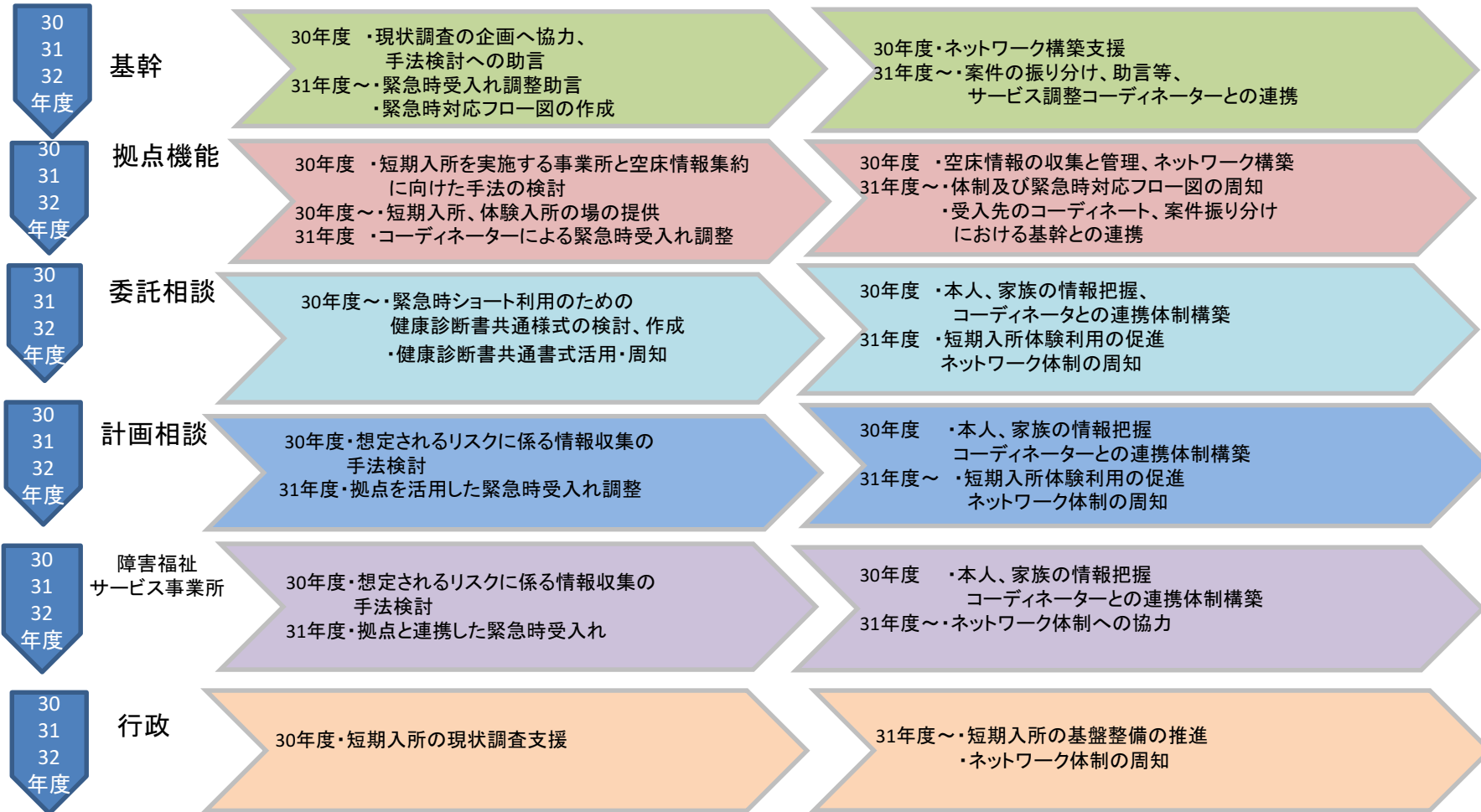
目標:「予防」と「緊急時の対応・受入」により、障がいのある方が地域で安心して生活できる環境を整える

現状調査の手法の検討と実施

情報収集・ネットワークづくり

短期入所の利用状況を把握し、行政と関係機関の話し合いにより、実態を踏まえて、既存資源を活用した情報収集の手法の検討と拠点を活用した緊急時対応の実施

本人、家族の情報を事前に把握し、緊急時に円滑な支援につなげることができるネットワークを整備



“体験の機会・場機能”整備に向けた中長期計画(平成30～32年度)

目標: 本人が望む環境で安心して暮らせる地域(エリア)

30
31
年度

平成30年度: 体験の機会・場の機能の検討

平成31年度: 体験の機会・場のシステム構築(協力事業所情報収集・制度設計)

体験するためのシステム構築

人材養成

情報収集・提供・管理

基幹

- ・コーディネート
- ・最初の窓口
- ・次に引き継ぐまでのケアマネジメント

- ・障害に特化した支援の研修の実施及び周知
- ・困難事例への対応の研修

- ・体験施設及び利用者の情報収集、管理
- ・困難事例(課題)の集約

拠点機能

- ・体験利用の受け入れ

- ・大学等の連携
- ・学生の実習(拠点)受け入れ
- ・人材養成

- ・各事業所に連携して空床管理(GH、生活介護、短期入所、就労系など)
- ・地域との交流

委託相談

- ・体験利用の調整

- ・アセスメント力向上研修への参加

- ・地域課題の集約、ネットワークへの検討課題提案

計画相談

- ・体験利用の調整(サービス利用に関する案件)

- ・アセスメント力向上研修への参加

- ・体験施設及び利用者の情報収集、管理

障害福祉サービス事業所

- ・体験利用の受け入れ
- ・提供サービスことの組合(ネットワーク)構築

- ・支援に関する研修への参加

- ・空床情報の提供

行政

- ・利用方法のフロー等を周知

- ・研修周知支援

- ・体制の周知(事業者等)

32
年度